

Joe Lynn Turner with Orchestra Legacy of Rainbow

“鉄のまち”東海市 鋼鉄フェスティバルVol.3

シンポジウム/パネリスト

広瀬 和生 (BURRN! 編集長)

ジョー・リン・ターナー

ライブ/出演

ジョー・リン・ターナー (Vo.)

竹本 泰蔵 (指揮)

名古屋フィルハーモニー交響楽団

LIVE&SYMPOSIUM



ジョー・リン・ターナー

1951年アメリカ ニュージャージー州生まれ、ファンダンゴでの活動後、ギタリスト リッチー・ブラックモア率いるレインボーへ加入。「アイ・サレンダー」、「闇からの一撃」、「Street of Dreams」などのアルバムに参加し、それまでヨーロッパと日本で人気が高かったレインボーは、アメリカでも成功を取めた。レインボー解散後は、ロイ・トーマス・ペイカーのプロデュースで初のソロ・アルバム「レスキュー・ユー」を発表する。1987年イングヴェイ・マルムスティーンのライジング・フォース、ディープ・パープル、マザーズ・アーミーのメンバーなどを経て、2008年より元レインボーのメンバーと共にオーヴァー・ザ・レインボーを結成した。ソロ活動でも様々なジャンルのアーティストとのコラボレーションを続けており、各国のフェスティバル、コンサートで演奏している。



竹本 泰蔵

1977年カラヤン・コンクール・ジャパンでベルリン・フィルを指揮し、第2位に入賞。カラヤン氏に招かれ、翌年よりベルリン・フィルの演奏に参加するなど、ベルリンを中心に研鑽を積む。帰国後は全国の主要オーケストラに客演し好評を博している。オペラ、バレエ、ミュージカルなどの舞台作品や、音楽レコーディングにも多数参加し、各メディアでの活躍も多い。映画音楽・ゲーム音楽のコンサートなど、幅広いジャンルでの公演にも積極的に、またロックやポップスなどアーティストとの共演も多い。近年は、映画で使われたサウンドを出来るだけ忠実に復元したオーケストラ楽譜の制作や、自身の企画・構成による、映像付コンサートを各地で展開。生演奏と映像とが絶妙にシンクロするその構成は、コンサートの新しい楽しみ方として注目を浴びている。



広瀬 和生

世界屈指のヘヴィメタル専門誌「BURRN!」の編集長。東京大学工学部卒の落語評論家でもあり、アーティスト、バンドに対する視点は常に鋭い。



名古屋フィル HAGOYA PHILHARMONIC ORCHESTRA

名古屋市を中心に、東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリードしている。その革新的なプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名フィル”の愛称で親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。2016年4月、小泉和裕が音楽監督に就任。他に現在の指揮者陣には、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)、円光寺雅彦(正指揮

者)、川瀬賢太郎(指揮者)が名を連ねている。2017年4月には、第2代コンポーザー・イン・レジデンスに酒井健治が就任。楽団結成は1966年7月。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。現在はバラエティに富んだ年間約120回の演奏会を実施。創立から50年を越え、さらなる飛躍を期している。

芸術総監督おすすめコメント

2006年8月4日、東京芸術劇場で「Tribute to Rainbow」というコンサートが開催されました。一世を風靡したRainbowの楽曲をJ.L.ターナーのヴォーカル、オーケストラの演奏で蘇らせたもので、多くの音楽ファンが集まり盛り上がりとともに、どこか切なさもあり、非常に温かい雰囲気でのコンサートでした。また、公演を後で知った方など来られなかった方々から再演やCD化を望む声もたくさん寄せられました。今回はそれを日本の真ん中に位置する“鉄のまち”東海市から発信致します!「Rainbowの持っていたスケール感はオリジナルか、オーケストラでしか表現出来ないのではないかと感じていた私は前回の公演でそれを確信しました。是非“鉄のまち”東海市で虹の伝説を体感してください!

東海市芸術劇場芸術総監督 安江正也

劇場インフォメーション

ひとづくりパートナーシップ・シリーズ 名フィル名曲劇場「新世界より」

2018年3月3日(土) 15:00 開演 大ホール [発売日] 先行:11月25日(土) 一般:12月2日(土)

S席 ¥4,500 A席 ¥4,000 小中高生 ¥1,000 出演:小泉和裕(指揮)、名古屋フィルハーモニー交響楽団

プログラム/ドヴォルザーク:交響曲第9番 赤短調「新世界より」、ロッシニニ:「セビリヤの理髪師」序曲、チャイコフスキー:「くるみ割り人形」組曲よりほか

